

巣立ちのとき

学校の最大の行事の一つ、卒業証書授与式を明日举行します。卒業生はほぼ3年間、コロナ禍のなかで中学校生活を送り、通常の行事や授業がままならないときもあり、例年以上に苦労も多かったと思います。そのような状況であっても、柔軟に対応し、自分達らしさを発揮し、確実に成長してくれたことを本当に嬉しく思います。卒業証書授与式も例外ではなく、来賓をお招きすることもできず、時間短縮での举行となります。しかし、卒業生・在校生ともに授与式にける思いは熱く、その全ては式歌に集約されることと思います。先日も、花壇で除草作業をしていると、音楽室から2年生の素敵な歌声が響いてきました。聞いているだけで心が癒される、そんな合唱でした。明日は間違いなく、卒業生・在校生の心のこもった歌声が、体育館いっぱいに響き渡ると確信しています。さあ、いよいよ明日は卒業生の巣立ちのときです。『勇気を翼に込めて 希望の風にのり この広い大空に 夢を託して♪』しっかり羽ばたいてほしいと思います。卒業生のこれからの活躍を期待しています。



生徒会黒板のメッセージ

友は喜びを2倍にし 悲しみを半分にするものである

しんゆう！！



突然ですが、「あなたには親友はいますか？」と問われたら、どう答えますか。この“親友”という言葉。よく使われる言葉ですがその捉え方は様々、恐らく「友達はたくさんいますが、親友といえるかどうか・？」という人も多いことでしょう。そもそも“親友”とは“親しい友達”のこと。でも、“腹を割って、本音で話ができる友“であるか、”間違いを間違いだと指摘してくれる友“であるか、そこが非常に難しいところだと思います。あらためてこの言葉を考えたとき、“親友”とは“深友(深い話ができる友)であり、信友(信頼できる友)であり、真友(真の友)”であるべきなのです。

上記の生徒会メッセージは、とても素敵な言葉だと思います。ここでいう“友”こそ、“深友(深い話ができる友)であり、信友(信頼できる友)であり、真友(真の友)”だと確信しています。人は年を重ねるごとに交流の場が広がり、友達も増えていきます。卒業生においては、高校生活を通して“新友”がたくさんできるでしょう。その“新友”のなかから、“親友”と言える友を見つけてほしいと思います。そのためには、自分自身が“深友(深い話ができる友)であり、信友(信頼できる友)であり、真友(真の友)である”そうなることを心がけて人と接すること。これが何より大切だと思います。